



# つくる、つくろう通信

## 陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属

会員募集中

編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会／発行：市民自治の会

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/



### 八王子城跡(国史跡、名城百選)の御主殿の滝、復活なるか!?



市民団体等の根気強い調査の中、滝涸れは圏央道トンネル工事との因果関係が明白であるにもかかわらず、この間、国土交通省は認めてきていませんでした。

しかし、4月27日の記者発表で、トンネル工事との関係は明確にできないとしつつも、滝涸れは雨が少ないことが原因ではなく、トンネル工事との何かしらの関係があることを認めてきています。そして、今回の教育長の要請文書(依頼)を国交省は真摯に受け止め、水環境の復活・並びに御主殿の滝の復活に早急に取り組みことが期待されます。それまでは、これ以上の工事を進めない。高尾山トンネルにおいてもしかりです。

#### トンネル視察記 (詳しくはホームページ参照)

5月29日、衆議院議員・保阪展人議員の要請による、圏央道トンネル工事内の現地視察に参加しました。先端のリーミングで岩盤を削っているところでは、24時間休みなしに作業が続いています。その一方で、コンクリートで固める覆工作業は遅々としてすすんでいない状況です。

岩盤にはセメントミルクを注入。しかし、セメントミルクが固まらず、隙間から白い液状になってもれているのがわかります。

一日のもれている湧水量は500トン。おびただしい量です。事態は深刻です。その証拠に、シートで覆われた裏から、管を通して、湧水がかなりの量、漏れているのを発見。現場は説明に窮していました。つまり、覆工工事が済んだところからも水漏れが起こっているわけで、これはコンクリートの裏面に湧水がたまっているということではないのでしょうか。

一日も早い滝涸れの原因究明と復活を!!!



(トンネル内にて)



(パイプから水がもれている所)

18八教生文発第80号  
平成18年6月22日

国土交通省関東地方整備局  
相武国道事務所長 森戸義貴 殿

八王子市教育委員会  
教育長 石川和昭

国指定史跡八王子城跡における水環境の保全に対する取り組みについて (依頼)

本年に入り城山川上流域における表流水が早く減少する現象がみられ、御主殿の滝においてたびたび表流水がみられないという文化財行政にとって憂慮すべき状況が発生しております。

圏央道の八王子城跡トンネル施工とこの現象との因果関係については、現時点では明確でないと貴職より説明を受けておりますが、先般の報告の際依頼したとおり表流水の減少及び御主殿の表流水が見られない状況について、その原因の特定を急ぐとともに、万全な施工によりトンネル坑内の止水構造の早期完成を要請いたします。

また、止水構造が完成のあかつきには、国指定史跡八王子城跡の水環境も復するものと確信しておりますが、施工完了後もこれが復することのないと考えられる場合には、水環境を復するために必要な対策を講ずることをお願いします。


なお、本依頼に関しては、文化庁、東京都教育委員会とも協議済みであることを申し添えます。

#### いままでの経過


- 2月13日 御主殿の滝涸れ(4度目)、現地視察(市民団体、議員8名)
- 2月20日 教育委員長に要請書提出(八王子市議会議員9名)
- 2月22日 国土交通省 記者発表
- 2月23日 原状回復を求める請願書提出
- 3月16日 国土交通省 記者発表  
八王子城跡水環境保全施工対策チームの立ち上げ
- 3月17日 文教経済委員会で請願不採択
- 3月27日 本会議で請願不採択(陣内は請願賛成討論をおこなう)
- 4月19日 6度目の滝涸れ
- 4月26日 トンネル技術検討委員会開催
- 4月27日 国土交通省 記者発表  
新たな調査実施。これまで以上の水環境保全の工事の徹底。7月中旬に中間報告。
- 5月22日 教育長との意見交換
- 5月29日 トンネル内現場視察
- 6月1日 教育長・文化庁長官へ緊急要請(議員10名)
- 6月5日 文化庁と意見交換
- 6月議会 3名の議員が一般質問で取り上げる(陣内も)
- 6月22日 教育長から国土交通省へ水環境保全・回復の要請文書

# 2006年第2回定例議会開催される(6月8日~6月23日)

## 市民参加の仕組みについて

市民、行政、そして議会がどれだけ本気で、この市民参加の仕組みづくりに取り組むか、その本気度が出来上がるルールの実効性を高めるものとなる。行政の本気度について検証する。ごみ処理基本計画の市民意見募集について、①パブリックコメントであるというが、期間が短すぎるのではないか。②廃プラスチックの資源化についての問題点に関する情報が提供されていない、③素案の説明や情報交換の場を設定したか。④情報の提供が不十分 こういった市民の疑問にどう答えるのか。

**環境部長**：さまざまな意見、提案をいただき、極力素案に反映させる形でまとめた。広報以外にも高齢者、障がい者、学生、大学からの意見募集を行った。こうした対応の中で、市民意見というものは十分反映できると考える。パブリックコメントは整理して公表していく。

ごみ処理基本計画の意見募集で、廃プラスチック処理については、一方的な計画提示、データ不足、丁寧な説明を欠いている、などの理由で、今後の市民参加の形骸化を生みかねない。合意が得られていないので、新たな検討を呼びかけるべき。

職員間の市民参加の理解を深めるための研修が必要。


市長もタウンミーティングなどで、形成的でない本音で話せる場づくりとしてのフリートーキングの実施、開放的な運営に取り組んでいただきたいが、いかがお考えか。

**総合政策部長**：条例制定趣旨を徹底し、市民参加の視点からの事業点検等も必要。条例素案ができた段階で、パブリックコメントを実施する予定。

**市長**：タウンミーティングでは、発言通告をいただいたやり取り後に、自由に発言いただく機会は毎回ある。そのなかで適切な発言もあるが、とんでもない発言をされる方が大体あります。会場からブーイングが出て、「やめろ」「帰れ」といった怒号が飛び交うケースがちよくちよくあるんです。だから、その場で出たところ勝負で毎回やっていたんでは、多分、嫌気がさす人も多くなる、そうおもいます。

**今後の課題**：市民参加の内実をつくっていくのは、私たちひとりひとり。しっかり使いこなしていきましょう。議会も市民にもっともっと開かれていかなければなりません。

## 障がい者自立支援法の影響について

4月から実施の障がい者自立支援法の影響で、施設退所や利用抑制などが全国で起こっている。八王子の実情はどのようになっているか。また、利用料の1割負担が障がい者の生活に重くのしかかっている。他区市で、独自減免が実施されているが八王子ではそういった考えはないのか。


さらに、応益負担という考え方に問題がある。障がいのあるかたがサポートを必要とするのは当然のこと。それで何らかの益を得るものではない。自立支援法の評価、そして、また、どのようなことに配慮して、障がいのある人とともに暮らすまちづくりを推進させるのか、お聞きしたい。

**高齢者・障害者担当部長**：サービス量を減らす、施設からの退所といった例は聞いていない。現状の軽減措置の利用対象者が漏れなく受けられるよう、徹底を図っていく。就労支援の充実はきわめて重要。

**副市長**：法の趣旨は、障がいを持つ方々が社会的自立に向けていっそう歩みを進めることができるようにといったものと認識している。今までのサービスを決して後退させることがないようサービス提供体制を整備するのが責務。障がい種別を超えたサービスの統一、そして就労支援を中心とした体制で、障がい者施策の転換が図られると期待している。しかし、従来の基本理念になら変更はない。

**問題点**：社会保障費に対する国の責任が不明確になってきている。高齢社会で国の負担がどんどんふくらむ、といった政府、マスコミの論調にまどわされないようにしよう。

## ぜんそく調査について

子どもの喘息が増えている。平均値で出すのではなく、学校ごとの経年変化を調べて、地域特性、たとえば、焼却場があるとか、いつも渋滞している大きな道路があるとか、などとの関連を分析する必要がある。八王子でも平均値の3倍以上の数値を示している学校が点在している。(一番大きい丸：焼却場。その次：罹患率10%以上の小学校。)

**学校教育部長**：ぜんそく児童・生徒の数が年々増加傾向にあることは認識している。小中学校の疾病異常調査結果の活用については研究していく。



(疾病異常調査のまとめより)

## その他

**高尾自然科学博物館整備**については、専門性を重視した内容にするよう要望しました。



## 傍聴記

いま、市は「市政にあなたの声を聞かせてください」と、市民参加の仕組みづくりに向けて、検討委員会を発足させ、動き出しました。が、市民参加で意見が反映されるのか、答弁を聞きながら、形式的ではないかと懐疑的な気持ちになりました。政策の決定が、どのような議論を経て決まっていくのか、決定のプロセスが重要と考えます。そのためにも議会傍聴は大切とおもいました。昨今、急速に変わる世の中で、国政に目を向けていました。「改憲」「共謀罪」等、シビアな問題が山積しています。しかし、地方分権、暮らしの中のさまざまな問題にも無関心ではられません。安心して暮らせるまちにするため、みんなで声を出していきましょう。(T・Y)

## ■税制改正の影響について (総務企画委員会より)

2007年度から定率減税の廃止があり、そのための条例変更が提案されました。

これは、1999年小渕内閣のときに、景気対策のための恒久的減税として、最高税率の引き下げ、法人税の引き下げ、とのセットで実施されたものであるにもかかわらず、定率減税だけ2006年度2分の1に縮減、そして2007年度には廃止となります。高齢者だけでなく、中間層への影響大です。

18年度住民税に対する税制改正の影響

老年者控除の廃止 48万円

非課税措置の廃止

公的年金控除の減額 140万円→120万円へ

定率減税(所得税の20%)の2分の1縮減(住民税は所得割額の15%)

一方で最高税率・法人税の引き下げはそのまま

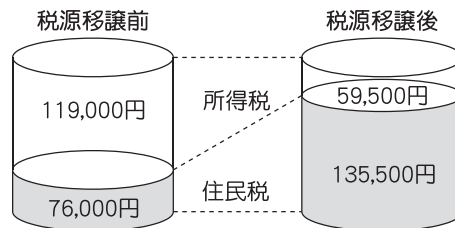
所得税	3000万円超の50% →
	1800万円超の37%
住民税	700万円超の15% →
	700万円超の13%
法人税	38% → 34.5% → 30%

**弱いものいじめするな!!!**

また、所得税と住民税のフラット化に伴う税率変更があります。

(2007年より)

例：給与収入500万円  
夫婦2人の場合



「税金教室」資料より

合計額  
195,000円  
は変わらず

※給与所得者が一人、子一人は特定扶養親族、一定の社会保険料がある場合。(参考：財務省HP)

\*フラット化ということで、税金総額に変更はないとしているが、2007年6月の住民税納付時期に納付書で納めている人、約10万人の人は増額に驚くだろう。介護保険料や医療費の改正などもあることから、総合的な十分な窓口対応・住民周知を図るよう要望しました。住民税の増収は、私たちの痛みによるものです。

## ■本当だったら大変！地区計画変更疑惑 (都市建設委員会より)

議員などのところに、怪文書が送られてきました。委員会で公にされました。

内容は、特定の議員が特定の企業に対して便宜を図り、行政に圧力をかけたのではないかと、いうものです。問題の場所は榎原西部地区の区画整理事業地内であり、第1種低層住居専用地域(10メートル以上の建物はだめ)を第2種住居地域に変更し、大型スーパーを誘致できるようにするというものです。

地区計画の変更は市の都市計画審議会での審議が必要です。審議会では多くの住民からの要望であると説明され、変更決定がなされました。しかし

**疑惑の1**：住民要望の実態がない。町会長名や個人での要望は出されているが、町会の総会決定事項になっていない。住民で、知らない人もいるとのこと。

**疑惑の2**：周辺商店街に影響はないとしているが、きちんとした調査結果ではない。周辺商店街は早いうちからスーパーが進出してきていることを知っていた。影響は大きい。

**疑惑の3**：変更理由は住民の要望との説明だが、文書で残っているのは、土地売却価格の低下に伴う対応となっている。そのような理由で、第1種低層住居専用地域を第2種住居地域に5段階も一足飛びに緩和変更することが許されるのだろうか。

**疑惑の4**：事前に議員の働きかけがあったのではないかとこの疑惑に対して、メモ等は一切ないと答弁。しかし、行政内部では、何かしらの電話や対応があれば、それなりにメモを残しておき、部課長に判断を仰ぐということが通例とおもうが、どうなっているのか。

継続審査を要望する意見が出されたが、否決された。地区計画変更議案の採決をおこなったところ、賛成多数で決まり。しかし、委員長から、調査をして、報告するように、との委員会総意の意見が付記された。しかし、行政内部だけの調査では、きちんとしたものになるとは思えない。やはり、チェック機構としての議会が責任を持って調査すべきである。

**東京オリンピック招致  
決議に反対しました。**

石原都知事が東京オリンピック招致を表明したのが昨年9月。6月の都議会でも議論になっていたのですが、大会運営費3,000億円、施設整備費5,000億円、そのうち、都の負担が約500億円。ほんとうかしら。

オリンピックをてこに更なる道路建設に拍車がかかります。そしてメイン会場は臨海開発地区。施策の失敗をオリンピック関連施設で穴埋めしようとするのかしら。また、この地区は、十分な交通アクセスがありません。

さらに、コンパクトなオリンピックということで、選手村から会場まで20分以内の移動を実現されるとか。どうやって？

また、多摩地区はほとんど何の相談もないといった状態です。私たちだって、都民税を払っているのに……。

こんなオリンピックに反対です。

## やすこの活動日誌

- 4月1日 「かもめ食堂」映画鑑賞  
 バリア体験と八王子のバリアフリー調査報告会  
 3日 北京JAC多摩会合  
 5日 八王子城跡問題今後の対策会議  
 6日 介護の社会化を考える1万人市民委員会IN 八王子  
 7日 八王子まつり総会  
 8日 市民参加のしくみ作り検討委員会傍聴  
 学校図書館を考える会 総会  
 9日 東京土建 定期総会  
 10日 八王子手をつなぐ女性の会  
 「つくる つくろう通信」第21号 発行  
 13日 八王子平和市民連合  
 14日 なんでも相談  
 15日 市民参加のしくみ作り検討委員会傍聴  
 18日 三多摩議員ネット定例会  
 19日 有料老人ホーム調査見学  
 21日 なんでも相談  
 男女参画基本計画 説明会(猪口邦子大臣講演)  
 22日 議会報告会(南大沢にて)  
 24日 海外友好都市についての経過報告  
 政務調査費 会議  
 25日-26日 市議団総会 高山市視察  
 27日 有料老人ホーム調査見学 カフェミーティング  
 28日 まま家  
 30日 自治会総会  
 5月3日 憲法記念集会 9条シール投票  
 5日 ケイテ・コルピッツ版画展  
 7日 イタリア映画祭「哀しい日々」  
 9日-11日 総務企画委員会行政視察  
 12日 居場所カレッジ【税金教室】  
 13日 郷土資料館運営委員会文化財視察  
 【国民保護計画】についての出前講座  
 14日 女性議員を増やすネットワーク「しなの」講演会  
 15日 読み語りの会  
 17日 教育基本法反対合同集会  
 20日-21日 新潟へ お墓参り  
 22日 八王子城跡問題意見交換会  
 23日 まま家  
 24日 医療制度からみた社会保障 学習会  
 25日 八王子市住宅・都市整備公社評議会  
 26日 総務企画委員会 会派代表者会  
 とめよう・戦争への道!八王子連絡会結成6周年集会  
 27日 全国フェミニスト路議員連盟 総会  
 「ダブルシフト」上映会  
 29日 八王子城跡トンネル視察  
 八王子手をつなぐ女性の会  
 30日 「ジェンダーでみる国際・国内政治」講演会  
 環境推進会議 傍聴  
 6月3日 市民参加の仕組みを考える検討委員会 傍聴  
 4日 環境フェスタ  
 5日 八王子城跡問題で文化庁と意見交換  
 6日 議会運営委員会  
 8日 一般質問  
 9日 一般質問  
 12日 一般質問  
 13日 一般質問 (\*陣内 傍聴ありがとうございました)  
 介護の社会化を考える1万人市民委員会IN八王子  
 本会議  
 15日 総務企画委員会 厚生水道委員会  
 【君が代】解雇させない6・15集会  
 16日 文教経済委員会 都市建設委員会  
 松戸市長選(中田 京さ)応援  
 17日 健康社会学セミナーシンポジウム  
 大沢ゆたかさん議選応援(立川市)  
 19日 介護保険ホットラインボランティア  
 20日 会派代表者会  
 21日 議会運営委員会  
 23日 本会議最終日(補正予算賛成・税制改正に伴う条例変更  
 反対・国民保護計画に基づく条例変更反対・オリンピ  
 ック招致決議反対)  
 26日 市民参加の仕組みづくり検討委員との意見交換  
 27日 まま家  
 28日 西多摩まちづくり研究会総会  
 障害福祉からみた社会保障 額集会  
 29日 八王子平和市民連合

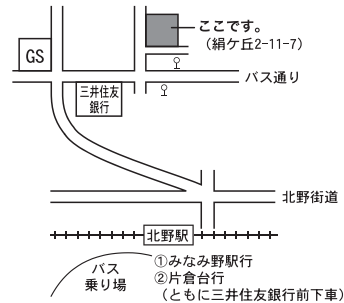
## 議会報告

2003年6月に市議会議員になって初めての議会報告をしました。それから、13回目。1回の議会で、3箇所で開催するので計39回目となります。ご参加いただいた方に感謝いたします。ありがとうございます。これからも情報の共有を心がけ、議会報告会や駅頭でのミニ報告を重ねていきます。通信、メルマガ、議会報告会、居場所でのなんでも相談等々、いろいろなツールを使いながら、すこしでも議会活動の一端を見ていただけるよう、がんばっていきます。

暑いさなかですが、是非お出かけください。

おかしい、とおもうこと、いやだな、とおもうこと、変だとおもうこと、なんでもおしゃべりしましょう。声をだすことから始まります。

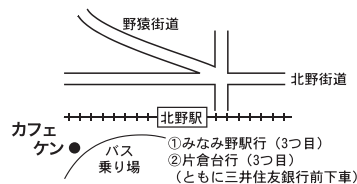
7月31日(月) 10:00~12:00



＝ 会場 ＝

みんなの居場所  
(042-636-8158)

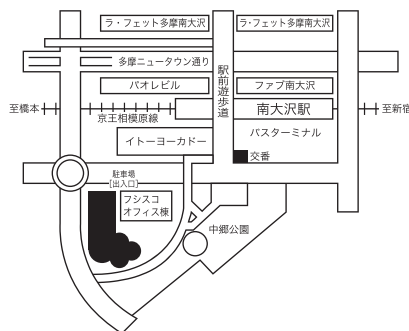
7月31日(月) 18:00~20:00



＝ 会場 ＝

カフェケン  
(042-656-2044)

8月1日(火) 14:00~16:00



＝ 会場 ＝

南大沢  
市民センター  
(042-679-2209)

エコカー、エコトラックが展示  
されていきました。



## 編集後記

昨年は戦後60年の節目の年。今年は?  
 憲法改正論議や共謀罪、そして国民保護計画など、この60年を空洞化させかねない課題がいっぱいです。広島・長崎、そして沖縄戦の記憶は、決して過去のものではない。私も戦争を知らない世代のひとりですが、もっともっと戦争の記憶をいまに取り戻すことをしていかなければならないと、いつも夏に思うのです。(や)